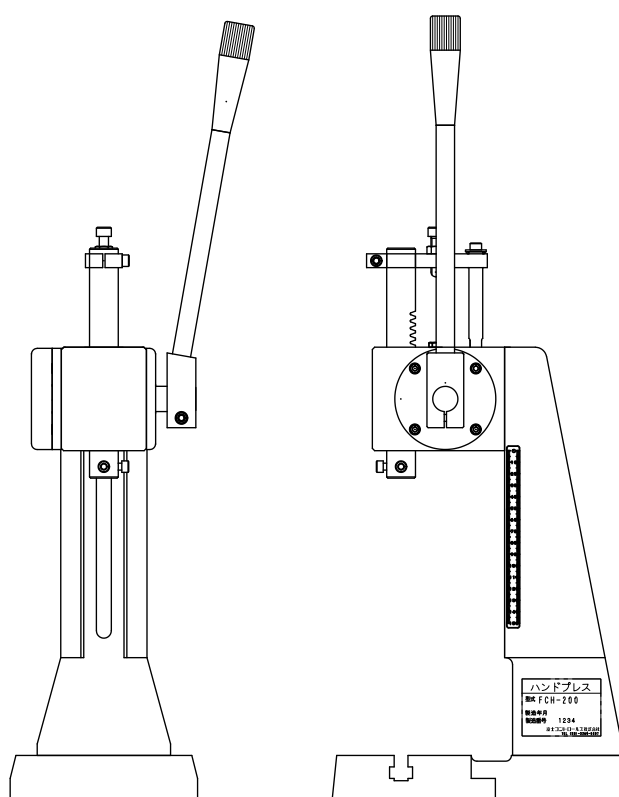


F C Cハンドプレス

FCH-200

取扱説明書

(Ver. 5)



富士コントロールズ株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-6

TEL.(03)3265-5437 FAX.(03)3265-5430

ホームページ : <https://www.fujicon.net>

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮させるために、ご使用に当たって本取扱説明書を必ず最後までお読みください。
また必要なときに参照できるよう大切に保管していただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

●本機を譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付して次の所有者に渡してください。

●本機は日本国内での使用を目的としております。

日本国内以外で使用の場合はその国の安全規定を必ず順守してください。

目次

ページ

安全に正しくお使いいただくために.....	- 1 -
本機の特徴.....	- 2 -
梱包をあけて.....	- 2 -
各部名称.....	- 2 -
据付け.....	- 3 -
各部調整.....	- 3 -
保守・点検.....	- 4 -
オプション・仕様.....	- 4 -
寸法図 ●CADデータ(DXF)をご提供しますのでご利用ください.....	- 5 -

安全に正しくお使いいただくために

以下に記載する注意事項は、このプレスを正しくお使いいただき、これに関わる人への危害、本機や財産への損害を未然に防止するものです。

 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷に至る結果となる切迫した状況を指します。
 警告	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷に至る結果となりうる可能性のある状況を指します。
 注意	誤った取り扱いをした場合、軽傷または中程度の傷害を負う結果となりうる可能性のある状況を指します。また、安全でない使用に対する警報、物的損害に対する警報になります。

必ずお守りください

警告

本プレスは、プレスの重さに十分耐える作業台に固定してご使用下さい。固定しないと倒れや落下による人身事故の恐れがあります。

プレスの運転は、他の作業者が本プレスのいかなる部分にも触れていない事を確認の上行ってください。特に型合わせ、ハンドル角度調整準備作業を複数の作業で行う場合はケガをする恐れがあります。

作業中に金型やストッパ部、回り止めアームなどに手などを入れると金型やストッパ部に挟まれ人身事故の恐れがあります。

注意

体調の悪い状態での作業および長時間連続作業は避けてください。

本プレスは改造・分解・自家修理をしないでください。必要が生じた場合必ず弊社にご連絡ください。無断でこれらを行った場合、故障・事故に対して一切の責任を負いません。

直射日光の当たる場所、温風吹出口、排熱口のそばなど温度の高くなる場所は避けてください。

正規の使用目的以外の用途には使用しないでください。ケガ等をする恐れがあります。

本機の特徴

スピンドル部に、オイルレスメタルを採用し、直進精度 $\pm 0.02\text{mm}$ と驚異の高精度を実現、精度の要求される作業に最適です。

深いフトコロ、長いストロークが広範囲な用途に対応できます。作業内容にあわせて、オープンハイトの変更や、ハンドルの取り付け角度の調整が可能です。

また、ご好評いただいております富士コントロールズ製荷重管理装置チェックマン（型式：CM-5）、グラフィックディテクタ（型式：GD-2）、との組み合わせにより、製品の品質管理はもちろん、製品試作・開発、破壊試験等幅広くご使用いただけます。

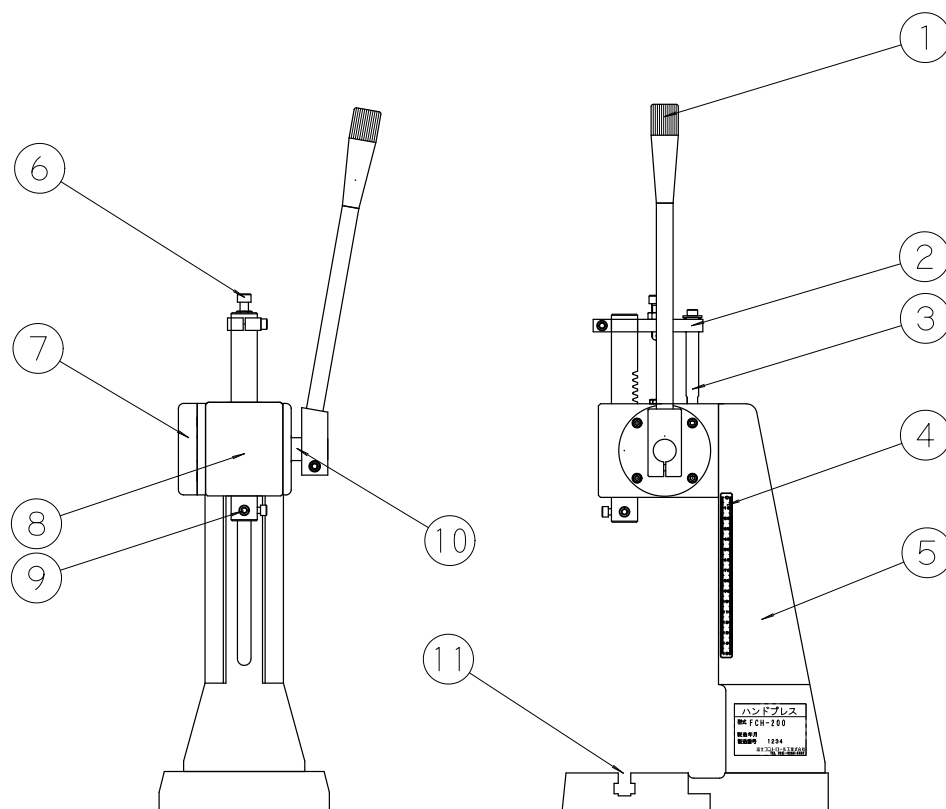
梱包をあけて

ご購入いただいたハンドプレスには、次のものが梱包されています。中身をご確認ください。

ハンドプレス

- ☐ プレス本体
- ☐ ハンドル
- ☐ 本取扱説明書

各部名称



①	ハンドル
②	回り止めアーム
③	回り止めガイドシャフト
④	オープンハイト目安目盛
⑤	コラム
⑥	ストッパボルト
⑦	バネ保護カバー
⑧	ヘッド部
⑨	プレスラム
⑩	駆動軸
⑪	ベース面

据付け

①組立

梱包の都合上ハンドルは、はずして出荷しております。
駆動軸にハンドルを差し込み、M8の六角穴付きボルトで固定してください。

②設置

プレスの重さに十分耐える作業台に、ベース面後部左右にφ8の固定用穴が2カ所ありますので、M6のボルトに平ワッシャを入れてしっかり固定してください。
ベース面は、錆止めを施しておりますので、これをアルコール等で剥離してご使用ください。

⚠ 警告

転倒する恐れがありますので、プレスを載せる架台はプレスおよび治具等の重さに充分耐えられる丈夫で安定性のある物を使用し、必ずボルト（架台はアンカーボルト等）で固定してください。プレスの転倒により人が死亡もしくは、重傷を負う原因となります。

各部調整

①オープンハイトの調整

ヘッドは上下に調整できます。オープンハイトの範囲は70mm～245mmまで調整できます。
ヘッド部分をしっかり押さえながら、六角レンチで裏側のヘッド固定用ボルト2本をゆるめ、ヘッド部を上下調整します。調整後ヘッド固定用ボルト2本をしっかりと固定してください。

⚠ 警告

オープンハイトの調整は、ヘッド部をしっかりと押さえながら調整してください。プレスラムの下に手を入れて調整しますと手などを挟む人身事故の恐れがあります。

②ストロークの調整

下死点は、ストップボルトで調整し、ロックナットで固定してください。

⚠ 注意

ハンドプレスの最大出力は2kNです。2kN以上の荷重が加わりますと、破損する恐れがあります。

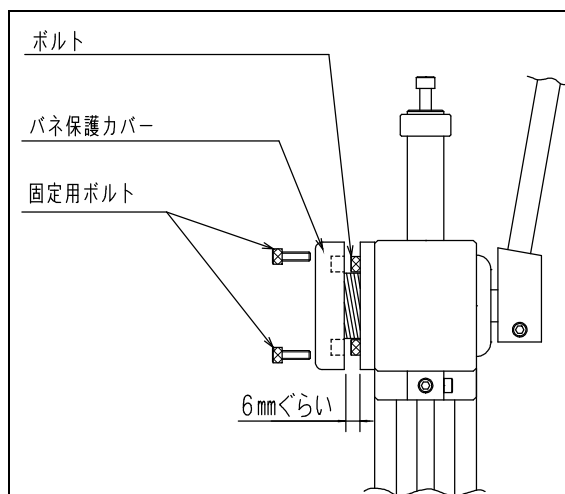
《ハンドル戻りのスプリング調整が必要な場合》

ハンドルと反対側に、バネ保護用カバーが付いています。2本のボルトで固定されておりますので、カバーを片手でしっかり押さえながらこのボルトを取り外してください。

⚠ 注意

中にゼンマイが入っており、飛び出す恐れがありますのでご注意ください。

バネ保護カバーは内部のボルトで回転しないようになっています。
バネ保護カバーをしっかりと押さえ、内部のボルトの頭がカバーから離れる程度に外します。
ゼンマイの力で、時計方向に力がかかりますので、レバー戻り力を強くするには半時計方向に、弱くする場合は時計方向に回転させてください。調整は90°単位でできます。
位置が決まりましたら保護カバーをはめ込み、固定用ボルトでしっかり固定します。
これで組立と調整は終了です。治具をセットし作業が行えます。



保守・点検

始業前に次の項目を確認してください。

①増し締め

ヘッド固定用ボルト、ハンドル固定用ボルト、ストッパボルト等がゆるんでいないか点検してください。
ゆるんでいた場合は、必ず増し締めをしてください。

⚠ 警告

ゆるんだまま使用すると体の一部を挟む等の事故の恐れがあります。

②給油

ときどき、回り止めにグリスアップをしてください。プレスラムの上下動がなめらかになり、錆止めにもなります。

③錆止め

ストッパボルトが当たる面やベース面が錆びないように、ときどき油を含んだ布で拭いてください。

⚠ 警告

本プレスは絶対に改造・分解・自家修理をしないでください。必要が生じた場合は必ず弊社にご連絡ください。無断でこれらを行った場合、故障・事故に対して一切の責任を負いません。

《ハンドルの戻りが悪いなどの時は次の項目を確認してください。》

- ① 回り止めがずれている
- ② ゼンマイの破損
- ③ ゼンマイの力が弱い
- ④ 治具が重い
- ⑤ 摺動部が錆びている

故障時の連絡先 TEL 03-3265-5437 技術課

※ご連絡の際は、プレスの型式、製造年月、製造番号をお控えください。

オプション・仕様

オプション

補高台 30mm、70mm

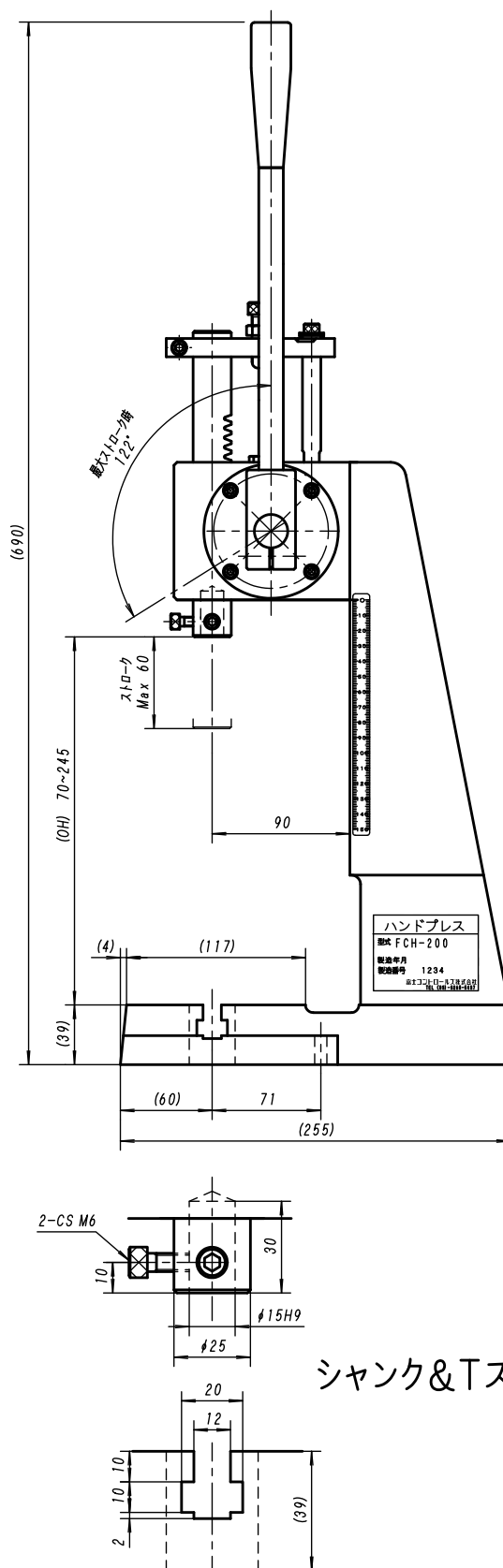
(オープンハイトを変更するブロックです。その他指定寸法にて製作可)

仕様

出力	1.96kN
ストローク	Max60mm
オープンハイト	70～245mm可変
シャンク寸法	φ15 H9
下死点ストッパ	調整範囲10mm
テコ比	約10倍
質量	23kg

寸法図 ● C A Dデータ（D X F）をご提供しますのでご利用ください

寸法図 ● C A Dデータ（D X F）をご提供しますのでご利用ください



シャンク&Tスロット拡大